



上の写真は、皆さんご存じの黒目川と西武池袋線が交差する「弁天堀橋」付近の風景です。次に、映画に登場する右の絵をご覧ください。丹念に描かれていることがお分かりかと思いますが、私たちが住むまちの風景が数多く登場します。映画の中で、ぜひ実感してください。

原画と写真展

東久留米駅からこの映画に登場する各場面を散策したい方のために、原画と同じ風景の写真を併せて展示します。気軽にお立ち寄りください。

【展示期間】7月中旬～9月2日(日)
【会場】東久留米駅西口
詳しくは管理課 ☎470・7767へ。



プロデューサー手記より

...原作者の木暮正夫さんをお訪ねし、映画化をお願いしたところ、クウがもう一度世の中に出るのが嬉(うれ)しいとおっしゃったのを憶(おぼ)えている。

その際、木暮さんの住む東久留米市の街並みを監督は気に入り、この映画へのロケハンを繰り返し、劇中の東久留米駅や黒目川周辺等は現実そのままに描かれることになった。地元の人しか知らない話だが、紗代子(主人公上原康一のクラスメート)のいる公園は小山台遺跡公園とコンテに指定されている。また効果音も、実際に東久留米の街音を録音し、東久留米シーンに使用している。

映画化をユメのようだとおっしゃっていた木暮さんは、2007年1月10日に無念にも他界された...

(報道機関用資料から抜粋)

原画と木暮正夫作品展

市立図書館に所蔵する木暮正夫氏の作品と原画を併せて展示します。

【展示期間】休館日を除く、7月14日(土)～9月2日(日)

【会場】中央図書館2階 展示コーナー
【入場料】無料 直接会場へ。
詳しくは同館 ☎475・4646へ。

「河童のクウと夏休み」に登場する多摩六都の風景展

映画に登場する東久留米市と清瀬市の風景を多摩六都科学館内休憩室に展示します。

【展示期間】休館日を除く、7月14日(土)～9月2日(日)

【会場】同館休憩室
【入場料】無料(要展示室券) 直接会場へ。
詳しくは企画調整課 ☎470・7702または多摩六都科学館 ☎469・6100へ。

河童のクウと一緒にこの夏を楽しもう!

原画・写真・作品展やクイズウォークなど

《プロフィール》

木暮 正夫(こぐれ まさお)
昭和14年群馬県前橋市生まれ。高校卒業後、児童文学を書くようになる。昭和41年から東久留米市在住。「ドブネズミ色の街」(理論社)でデビュー。「かっぱ大さわぎ」(旺文社)、「二ちょうめのおばけやしき」「日本のおばけ話・わらい話」シリーズ(いずれも岩崎書店)などの作品がある。社団法人日本児童文学者協会理事長在職時、平成19年1月逝去。

原 恵一(はら けいいち)
昭和34年群馬県生まれ。PR映画の制作会社を経て、昭和57年シンエイ動画に入社。テレビでは、「ドラえもん」の演出、「エスパー魔美」のチーフディレクター、「クレヨンしんちゃん」の演出を務める。映画では「映画クレヨンしんちゃん」シリーズの「暗黒タマタマ大追跡」(平成9年)から「嵐を呼ぶアッパレ戦国大合戦」(平成14年)まで6本の脚本・監督を担当。「嵐を呼ぶアッパレ戦国大合戦」で第6回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞、第57回毎日映画コンクールアニメーション映画賞等を受賞。

こぐれ けんじろう
昭和41年東久留米市生まれ。原作者の二男。イラストレーター。木暮正夫の「かっぱ大さわぎ」「かっぱびっくり旅」の2作を所収した「河童のクウと夏休み」(5月下旬発行、岩崎書店)のイラストを担当。

各ポイントで出題されるクイズに解答しながら、映画に登場する市内の場面を巡(めぐ)ります。

クイズウォークに参加された方には、抽選で賞品を多数用意しています。この夏思い出しに、家族や友達とぜひご参加ください。

詳細は広報8月1日号でお知らせします。

映画に登場する場面をめぐるクイズウォーク

東久留米市・西武鉄道共催

【雨天決行】
【コース】東久留米駅西口市内各所 市役所1階屋外ひろば

【参加費】無料
直接受け付け会場へ。
詳しくは産業振興課 ☎470・7743へ。



映画に出てくるこの場面。場所はどこか、もうお分かりですね。

【交通】電車で 東北新幹線「新花巻」駅で釜石線に乗り換え、「遠野」駅下車 車で 東北自動車「北上江釣子IC」から国道107号線または283号線で遠野市街地へ

岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置する遠野市は、人口約3万1700人(4月30日現在)、柳田國男作「遠野物語」で知られる民話の里です。人々を驚かし、いたずらをした「河童」をはじめ、「座敷わらし」「オシラサマ」など、数多くの昔話が今もなお、語り部によって伝えられています。

東久留米市とともに映画に登場 岩手県遠野市のご紹介